

コンパクトクールキット 取扱説明書

(シュラウドステーマウント)

適応車種	Z125 PRO (BR125H-A02621 ~)
	Z125 PRO (タイ仕様)

適応条件	弊社スペシャルクラッチカバー、ビッグスロットルボディーキット装着車
------	-----------------------------------

◎ラバーホース	
スペシャルクラッチカバー取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所	
シュラウドステーマウント	
製品番号	07-07-0320 (4フィン)
	07-07-0321 (3フィン)

◎スリムラインホース	
スペシャルクラッチカバー取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所	
シュラウドステーマウント	
製品番号	07-07-0235 (4フィン)
	07-07-0236 (3フィン)

◎ブレードホース (#4)	
スペシャルクラッチカバー取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所	
シュラウドステーマウント	
製品番号	07-07-0413 (4フィン)
	07-07-0414 (3フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋を着用して下さい。)

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。

◎弊社製スペシャルクラッチカバー、ビッグスロットルボディーキット装着車用です。

オイル量は通常規定オイル量に4フィン：約60cc / 3フィン：約40cc追加して下さい。

◎ブレードホース #4 の場合、アンダーカウルを一部加工する必要があります。

◎弊社製スーパーオイルポンプキットのラインナップが有る車両に関しましては同時装着を推奨します。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンボアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。

コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。取り付け場所はフレームに取り付けられたシュラウドステー兼オイルクーラーブラケットにオイルクーラー本体を固定します。オイル取り出し口は弊社製スペシャルクラッチカバーにあるオイル取り出し用ボスを使用します。

クーラー本体は3フィン4オイルラインと、4フィン5オイルラインの2種類からお選び頂けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。（オイル漏れ及びトラブルの原因となります。）

■オイル（潤滑剤）が関係する作業ですので、エンジン始動前には必ずオイル量を点検して下さい。足りない場合はオイルを足して下さい。

また、サービスマニュアル指定の交換距離に達している場合はオイルを交換して下さい。（エンジントラブルの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

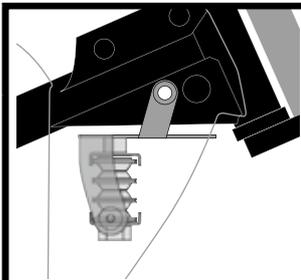
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

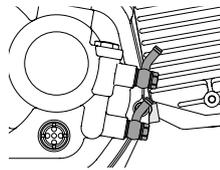
オイルクーラー取り付け場所：シュラウドステー

製品名

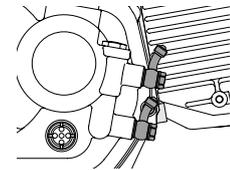
コンパクトクールキット（ラバーホース）
（ビッグスロットルボディーキットΦ34及び
スペシャルクラッチ装着）
4フィン 07-07-0320 3フィン 07-07-0321

コンパクトクールキット（スリムラインホース）
（ビッグスロットルボディーキットΦ34及び
スペシャルクラッチ装着）
4フィン 07-07-0235 3フィン 07-07-0236

オイル取り出し口

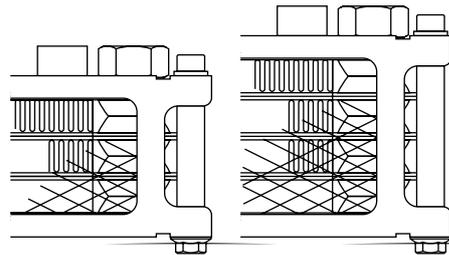


スペシャルクラッチカバー

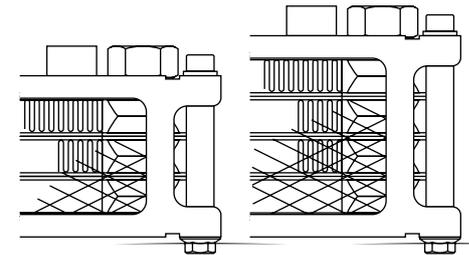


スペシャルクラッチカバー

オイルクーラー本体

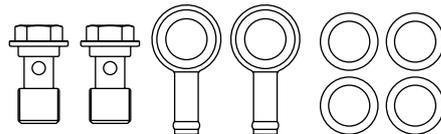


コンパクトクール コンパクトクール
3フィン (00-07-0124) 4フィン (00-07-0104)

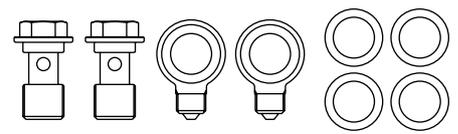


コンパクトクール コンパクトクール
3フィン (00-07-0124) 4フィン (00-07-0104)

バンジョー
フィッティング
（オイルクーラー側）

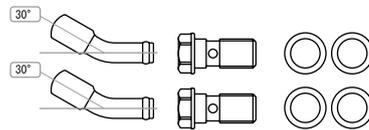


バンジョーセット
(M12/ ストレートユニオン) (00-07-0047)

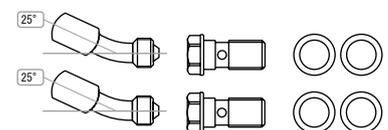


バンジョーセット
(M12/ スリムライン用) (00-07-0135)

バンジョー
フィッティング
（取り出し口側）

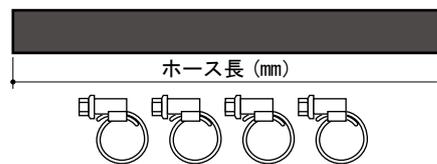


フィッティングアダプターセット
(ラバーホース /30° ユニオン) (00-07-0035)

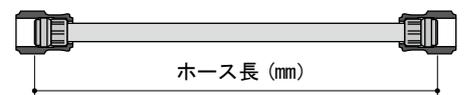


フィッティングアダプターセット
(25° /スリムライン) (00-07-0150)

ホース（ホース長）

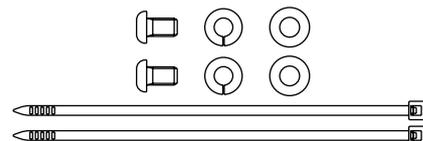


ラバーホースセット 1000mm (00-07-0011)

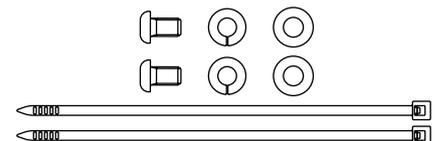


スリムラインホース 250mm (00-07-0109)
スリムラインホース 310mm (00-07-0111)

スクリューセット



M6 ボタンヘッドスクリューセット (00-00-2827)



M6 ボタンヘッドスクリューセット (00-00-2827)

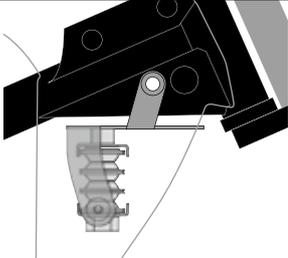
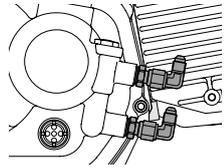
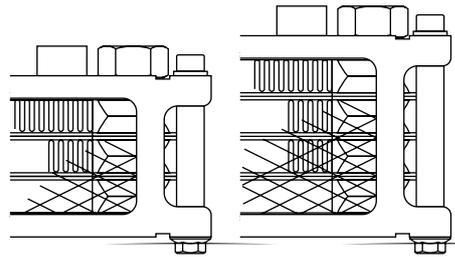
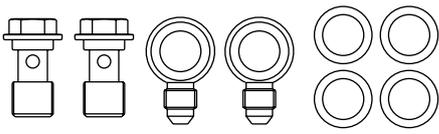
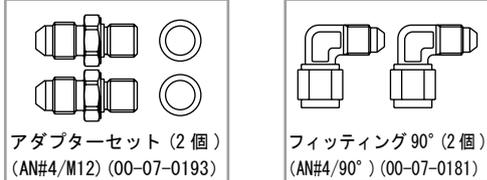
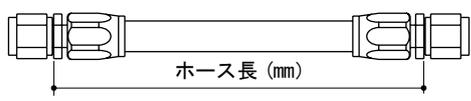
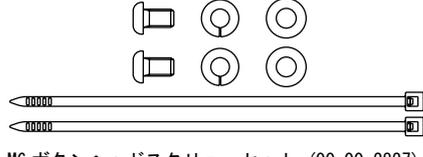
オイルホールプラグ



オイルホールプラグ (00-02-0391)
※サーモスタットユニットを装着しない場合は
スペシャルクラッチカバーに装着して下さい。



オイルホールプラグ (00-02-0391)
※サーモスタットユニットを装着しない場合は
スペシャルクラッチカバーに装着して下さい。

	<p>製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。</p>	
	<p>オイルクーラー取り付け場所：シュラウドステー</p>	
	<p>製品名 コンパクトクーラーキット（ブレードホース #4） （ビッグスロットルボディキットΦ 34 及び スペシャルクラッチ装着） 4フィン 07-07-0413 3フィン 07-07-0414</p>	
<p>オイル取り出し口</p>	 <p>スペシャルクラッチカバー</p>	
<p>オイルクーラー本体</p>	 <p>コンパクトクーラー コンパクトクーラー 3フィン (00-07-0124) 4フィン (00-07-0104)</p>	
<p>バンジョー フィッティング （オイルクーラー側）</p>	 <p>バンジョーセット (AN#4/M12) (00-07-0184)</p>	
<p>バンジョー フィッティング （取り出し口側）</p>	 <p>アダプターセット (2個) (AN#4/M12) (00-07-0193)</p> <p>フィッティング90° (2個) (AN#4/90°) (00-07-0181)</p>	
<p>ホース（ホース長）</p>	 <p>ホース長 (mm)</p> <p>ブレードホース #4 200mm (00-07-0186) ブレードホース #4 350mm (00-07-0190)</p>	
<p>スクリューセット</p>	 <p>M6 ボタンヘッドスクリューセット (00-00-2827)</p>	
<p>オイルホールプラグ</p>	 <p>オイルホールプラグ (00-02-0391) ※サーモスタットユニットを装着しない場合は スペシャルクラッチカバーに装着して下さい。</p>	

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット ラバーホース / スリムラインホース / ブレードホース #4 共通組み付け事項

対象仕様 弊社ビッグスロットルボディキットΦ 34(ノーマルシリンダー / スーパーヘッド +R) 及び弊社製スペシャルクラッチカバー装着車

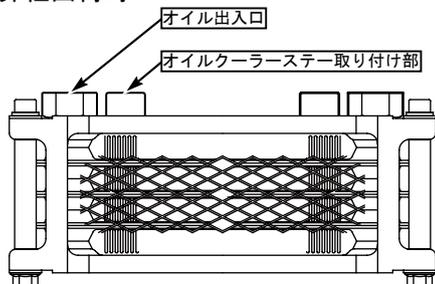
■オイルクーラー本体 オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラー本体の組み換え作業

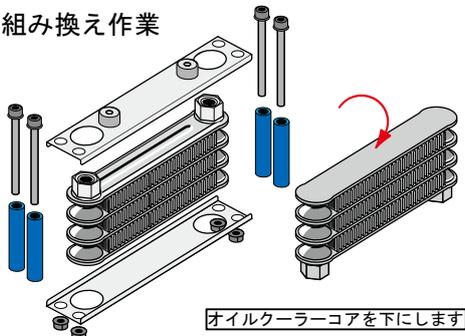
ラバーホース採用キットの場合、オイルクーラーのオイル出入口をオイルクーラーステー取り付け部と上下逆の方向にする必要があります。

弊社出荷時はオイル出入口とオイルクーラーステー取り付け部が上になった状態です。

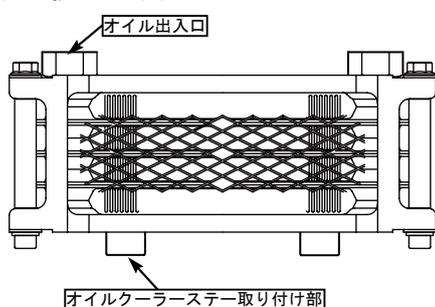
弊社出荷時



組み換え作業



組み換え作業後

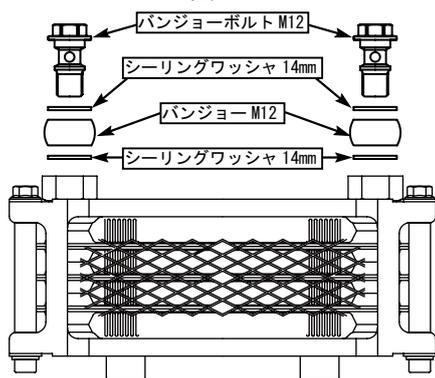


■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け

ラバーホース採用キットはオイル出入口に取り付けるシーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルトをオイルクーラー本体のオイル出入口に仮止めします。

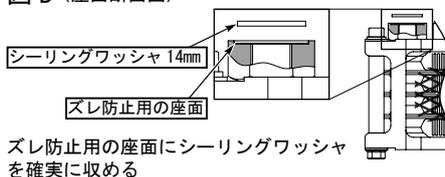
下図 A にて組付け順をご確認下さい。

図 A



▲注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。(下図 B) この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

図 B (座面断面図)



■バンジョーボルトのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り回し確定後に規定トルク締めを行います。バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

■車両を安定させた状態にし、ビッグスロットルボディキットの取り扱い説明書とサービスマニュアルを参照し、左右のシュラウドアンダーカウルを取り外します。

■オイルクーラーをシュラウドステーに取り付け、付属のボタンヘッドソケットスクリュー 6x10、スプリングワッシャ 6mm、プレーンワッシャ 6mm で取り付け締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンソケットスクリュー 6x10
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット（ラバーホース） 4フィン07-07-0320 3フィン07-07-0321

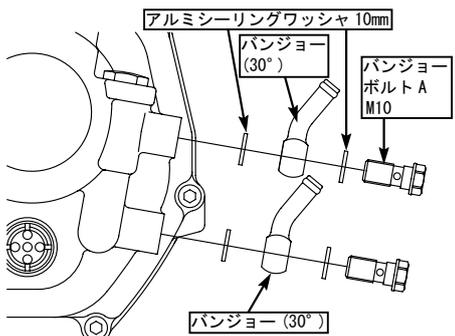
対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

■クラッチカバー下にあるオイルプラグ2個を取り外します。
クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト2本を取り外します。
※ボルトを取り外した際、オイルが漏れ出す可能性があります。

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

図を参照し、クラッチカバーにバンジョーM10(30°)をアルミシーリングワッシャ10mm2枚で挟み、バンジョーボルトA M10を用いて締め付けます。
※ホース等の取り回しを決めた後にバンジョーボルトM10を規定トルクで締め込みます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト A M10
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲シーリングワッシャは、分解毎に必ず新品に注意 交換して下さい。(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■ラバーホースの組み付け

■ラバーホースの適切な長さを求めます。
ラバーホースを適切な長さにカットする為、ホースを仮付けし、長さを測ります。
ホースの取り回しにかかる長さに加え、各バンジョーへ差込む長さが必要になります。
長さを計測後、ラバーホースをカットします。

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をオイルホースで接続します。
ラバーホースにホースクランプを通し、オイルクーラー本体側のバンジョーとオイル取り出し口側のバンジョーに差し込みます。
オイルホースの他の部分と著しく干渉しない様に取り直しを行い、オイルクーラー本体側のバンジョーボルトを締め付けます。
バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。最後にホースクランプを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■ホースのねじれや折れがないか確認し、ホースクランプを締め付けます。
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックと外装パーツをサービスマニュアルを参照し組み戻します。

必ず右記の■オイルホールプラグ取り付け作業を行って下さい。

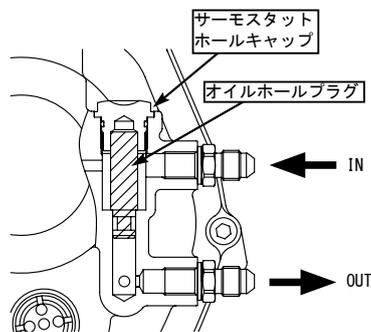
必ず6ページの注記を確認して下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■オイルホールプラグ取り付け

■スペシャルクラッチカバーにサーモユニットを取り付けない場合
サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



オイルホールプラグは、溝がある方が下側にくる様に取り付けます。

■対象製品 コンパクトクールキット（スリムラインホース） 4フィン07-07-0235 3フィン07-07-0236

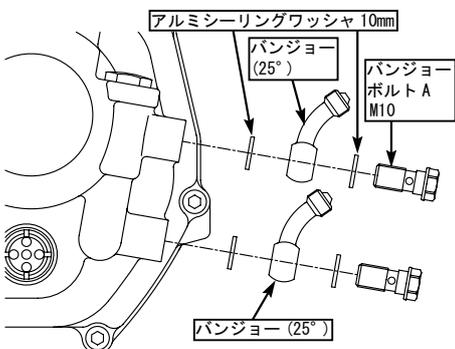
対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

■クラッチカバー下にあるオイルプラグ2個を取り外します。
クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト2本を取り外します。
※ボルトを取り外した際、オイルが漏れ出す可能性があります。

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

図を参照し、クラッチカバーにバンジョーM10(25°)をアルミシーリングワッシャ10mm2枚で挟み、バンジョーボルトA M10を用いて締め付けます。
※ホース等の取り回しを決めた後にバンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト A M10
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲シーリングワッシャは、分解毎に必ず新品に注意 交換して下さい。(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■スリムラインホースの組み付け

オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。

■クラッチカバー側
オイルホース310mmをクラッチカバー上側に取り付け、オイルホース250mmをクラッチカバー下側に取り付け締め付けます。

■オイルクーラー側
オイルホース250mmをオイルクーラー右側に、オイルホース310mmを左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スリムラインホース（フィッティング）
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョーM12の向きを調整し、バンジョーM12x1.0を締め付けます。
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックと外装パーツをサービスマニュアルを参照し組み戻します。

必ず右記の■オイルホールプラグ取り付け作業を行って下さい。

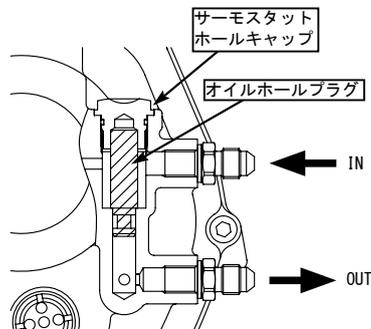
必ず6ページの注記を確認して下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■オイルホールプラグ取り付け

■スペシャルクラッチカバーにサーモユニットを取り付けない場合
サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



オイルホールプラグは、溝がある方が下側にくる様に取り付けます。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット（ブレードホース #4） 4フィン07-07-0413 3フィン07-07-0414

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー

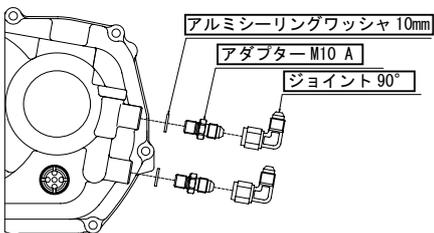
■アンダーカウルの取り外し

ソケットボルト4箇所を取り外します。落とさない様注意し取り外します。

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

■クラッチカバー下にあるオイルプラグ2個を取り外します。
クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト2本を取り外します。
※ボルトを取り外した際、オイルが漏れ出す可能性があります。

■図を参考にクラッチカバーにアダプター M10 A にアルミシーリングワッシャ 10mm を通しクラッチカバーに規定トルクで締め込みます。その先にジョイント 90° を締め付けます。
※ホース等の取り回しを決めた後にジョイント 90° を規定トルクで締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター M10 A
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲ シーリングワッシャは、分解毎に必ず新品に注意 交換して下さい。(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■ブレードホース #4 の組み付け

オイルクーラー本体とオイル取り出し口をブレードホース #4 で接続します。

■クラッチカバー側
オイルホース 200mm をクラッチカバー上側に取り付け、オイルホース 350mm をクラッチカバー下側に取り付け締め付けます。

■オイルクーラー側
オイルホース 200mm をオイルクーラー右側に、オイルホース 350mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ホースフィッティング / ジョイント 90°
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョー M12x1.0 を締め付けます。
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■アンダーカウルの加工
クラッチカバー取り出し口のフィッティングとアンダーカウル干渉する箇所を確認し写真のラインをカットします。



■各部チェックと外装パーツをサービスマニュアルを参照し組み戻します。

必ず右記の■オイルホールプラグ取り付け作業を行って下さい。

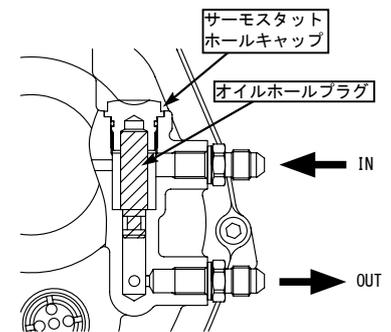
必ず下記の注記を確認して下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■オイルホールプラグ取り付け

■スペシャルクラッチカバーにサーモユニットを取り付けない場合
サーモスタートホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
サーモスタートホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



オイルホールプラグは、溝がある方が下側にくる様に取り付けます。

オイルホールプラグ及びサーモユニットについての注意点

▲注意：クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、(購入時の状態)必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

▲注意：スペシャルクラッチカバーが組み付けられている車両で、オイルフィルター部又はクランクケースの取り出し口にオイルホースを取り付ける場合は、スペシャルクラッチカバーにはオイルホールプラグ及びサーモユニットを取り付けしないで下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

©この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデータでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

